

深まる秋 風情満喫

各地で文化イベント

10.19

秋晴れとなった十八日、県内各地で文化イベントが開かれた。倉吉市の伝統的町並みを生かした秋のイベント連携キャンペーン「小京都・倉吉を歩く秋」も本格的にスタート。白壁土蔵群などを和紙で包んだ明かりで彩る「第三回山陰KAMIあかり」や、町歩きを楽しむ「遙かなまち倉吉ウオーク」などが繰り広げられ、観光客らが風情のある多彩なイベントを満喫した。



一斉にスタートしたウォーカーたち。18日、倉吉市の打吹公園

昼と夜、2つの顔堪能

山陰KAMIあかり／遙かなまちウオーク

光に誘われ
そぞろ歩き



猫展
真展
昭写
光合
岩合

（倉吉）
Iあかり
陰KAMI
中心には、幸せが宿る
ことを願って福の神の
木像が置かれ、五十個
の白熱電球がトンネル
内をほんやりと照らし
出した。訪れた観光客
らは、幸せを願いなが
ら光のトンネルをゆっ
くりとくぐり抜けてい
た。

また、土蔵群一帯が
柔らかな光で浮き上が
る中、里見八賢王をモ
チーフにした「八犬士
ねぶた」も披露された
ほか、胡弓奏者のコン
サートも開かれ、幻想
的な雰囲気を感じ上げ
た。

約百点の和紙照明や和紙トンネル、白壁スクリーンアートなどが白壁土蔵群一帯を照らし、柔らかな光が織りなす美が訪れた人々たちを魅了した。
今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

柔らかな光を放つ和紙の照明＝18日、倉吉市の白壁土蔵群

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

参加者は、自然と歴史にあふれた景観を楽しみながら、思い思いのペースで歩を進め、

ゴールの白壁土蔵群を目指した。

土蔵群では、コース内に置かれた山陰KAMIあかりの和紙照明などのデザインに目もやり、日暮れ後は、会場をゆっくりと散策して回る参加者の姿も見られた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。

今年初めて取り組まれた和紙トンネルは、旧アーケードに設置、格子状に組んだ竹に因り、和紙が張り付けられ

た全長二十五メートル、高さ最大四メートル、幅最大三メートルの巨大なオブジェで、

中心には、幸せが宿ることを願って福の神の木像が置かれ、五十個の白熱電球がトンネル内をほんやりと照らし出した。訪れた観光客らは、幸せを願いながら光のトンネルをゆっくりとくぐり抜けていた。

また、土蔵群一帯が柔らかな光で浮き上がる中、里見八賢王をモチーフにした「八犬士ねぶた」も披露されたほか、胡弓奏者のコンサートも開かれ、幻想的な雰囲気を感じ上げた。